

議会だより

SHICHIGAHAMA

宮城県七ヶ浜町議会

No. 163
2025.4.24



子どもたちが輝ける町へ



特集記事(P2~3)

どうなる!?
7年度の敬老会

予算審査特別委員会(P4~7)

書かない窓口を導入

議会報告・懇談会(P23)

5月に各地区で開催

持続可能な敬老会へ



敬老会とは？

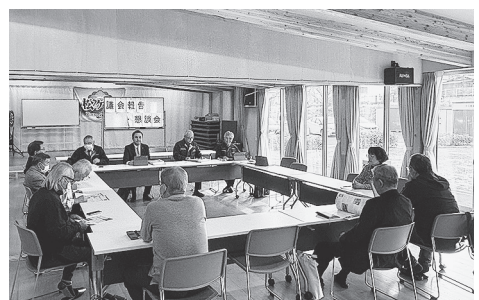
敬老会とは、七ヶ浜に多大な貢献をして下さっている方々を敬い、慰労する大事な会です。7年度予算では、238万6千円が計上されました。

近年では参加者の減少が著しいだけでなく、アクティブなシニア世代も多く、時代に合った敬老会のあり方が模索されています。議会報告・懇談会等でも多くの声が寄せられていますので、一部を下記に掲載します。

また、6年度には、町がアンケート調査を実施、その結果を踏まえた7年度の変更点を次ページで紹介します。

議会報告・懇談会での意見

- 名簿や記念品を一軒ずつ配布するのが大変。特に名簿は厚みもあり、かなり重労働なので、どうかしてほしい。
- 名簿に氏名が掲載されると年齢が分かってしまう。高齢者扱いされるのも不愉快。
- 急速な高齢化が進んでいる中で、近隣の他市町では、敬老祝い金や長寿祝い金の見直しを実施していると聞く。敬老会とは別の話なのかもしれないが、七ヶ浜町でも検討が必要なのでは。
- 移動手段の問題で参加を辞退する人も多いと聞く。町で送迎車を出す、タクシー代を助成するなど工夫はできないのか。
- 催しの内容が毎年、似たような内容でつまらない。工夫してほしい。
- 記念品を日常で使用できるような物にしてほしい。



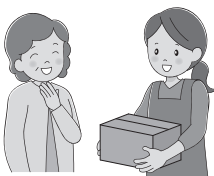
どうなる!?

7年度の敬老会

記念品の配布方法

6年度 婦人会や地区の役員を通して配布。
記念品代：154万円

7年度 敬老会来場者のみに記念品を配布。
記念品代：55万円



申し込み方法

6年度 婦人会や地区の役員を通して参加の有無を確認。

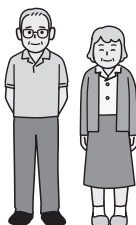
7年度 対象者へ郵送での意思確認に変更。
封筒印刷代：9万5千円
案内郵便料：10万5千1円



会場までの交通手段

6年度 現地集合現地解散。

7年度 事前に希望する町民に対してマイクロバスを無料で案内。
マイクロバス
借り上げ代：10万円



敬老会名簿

6年度 希望しない町民を除き、対象者全員を掲載。婦人会や地区の役員が一人一冊ずつ配布。

名簿印刷代：3万8千1円

7年度 個人情報保護の観点や掲載を希望しない町民が多くなった点に配慮し、作成しない。名簿印刷代：0円

みんなの声



だ さい さと
太 幸 悟さん

敬老会は続けていかなければならない町の事業だと思います。近年参加しづらくなってきているが、もっと参加しやすく、参加したくなる工夫をするべきだと思っていました。

仕事から地域の方から、会場まで行くための足がないなどの声を聞いていたので、今回希望者にマイクロバスの案内をする取り組みはとても良い事だと思います。

みんなの声



すず き
鈴木きい子さん

交通手段や名簿は同じように思っていた方が多いので住民の声が反映されていると感じました。参加する方が増えれば良いと思います。

年齢を考えたくないという理由から参加しないという人もいますので、対象年齢の引き上げや参加したくなるような魅力的な何かをすることが必要だと思います。開催場所なども考える余地があると思います。

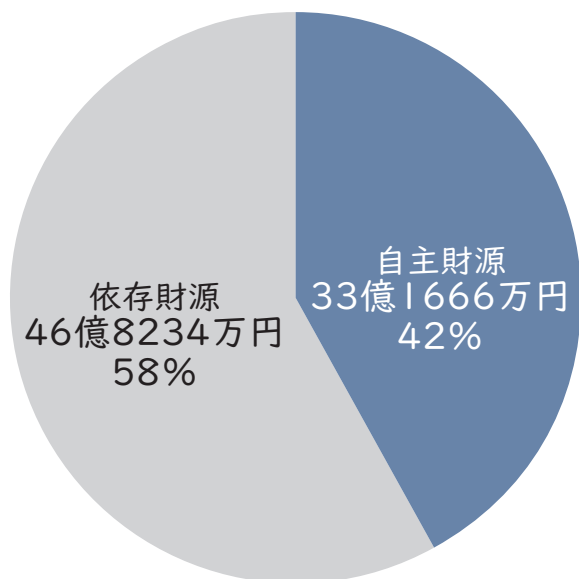
まとめ

全てではないかもしれませんが、町民の皆さんの声は確実に新年度予算に反映されています。
町民一人一人の声が町政を動かす大きな原動力となります。
議会としても、注視してまいりますので、是非、皆さんの声を聴かせてください！

新たな事業展開は

議会では特別委員会を設置し、3月5日から3月17日まで7年度当初予算を審査し可決しました。町長からは、DX推進をはじめ「復興と防災」「人材育成」「攻めの福祉」など6つの政策を軸とした方針が示されました。議会は、町の課題を踏まえ、持続可能なまちづくりに向けた予算となっているか慎重に審査しました。

7年度一般会計予算 79億9900万円



前年度比7億9600万円増（11.1%）

増額の主な要因

- 参議院議員選挙および宮城県知事選挙執行経費
- 町道整備事業
- 七ヶ浜町武道館耐震化および大規模改修事業など
- 小中学校体育施設照明改修事業
- 学習用および指導者用タブレット端末購入事業

7年度の主な事業

- 防災対策事業 2622万円
- 英語を通じたコミュニケーション力の育成事業 2267万円
- 給食食材物価高騰保護者支援事業 2011万円
- こども計画策定事業 400万円
- 不妊検査・不妊治療費助成事業 220万円
- 放課後児童健全育成事業 6986万円
- 七ヶ浜アロープログラム事業 311万円
- 地域公共交通対策事業 9187万円
- フィッシャーマンズ・チャレンジ事業 1342万円

総務課(デジタル推進室)

DX 推進事業

書かない窓口を導入 円滑に運用されるか？

どんな内容？

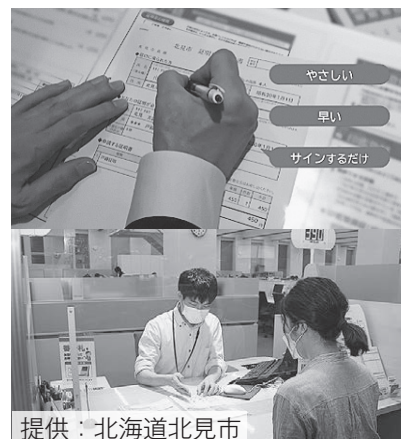
来庁者の書類記入や窓口移行などの負担軽減のために導入し、住民の利便性の向上を図るもの。

【問】 職員の視察など研修は。また、導入時期は。

【答】 関係各課の職員で先進地視察を予定している。6年度に指導や業務の見直しも含めて、移行する準備をしていた。そして7年度に導入ということで計上した。

予算額

2034
万円



提供：北海道北見市

写真はイメージです

しちがはま議会だより 第163号 ④

特集

予算
特別委員会
審査

議案
審議

補正
予算

1月
第2回
会議

一般
質問

委員
会リ
ポート

議
会
報
告
懇
談
会

防災対策室 カメラ付防犯灯設置事業

町の防犯対策は万全か？

予算額
242
万円

どんな内容？

闇バイト等の新たな形の犯罪に対処すべく、交通量の多い箇所等にカメラ付きのLED防犯灯の設置に取り組み、安全で安心して暮らせるまちづくりを進めるためのもの。

【問】設置箇所や運用方法は。また、地区から設置要望があった場合の対応は。

【答】貞山橋や歴史資料館付近の十字路交差点、君ヶ岡公園前交差点、砂山交差点、菖蒲田浜の長須賀の丁字路の5カ所に設置する。カメラ自体は町で管理するが、映像に関しては、警察からの捜査依頼により提供することになる。また、今回の設置が最後ではなく、地区要望など必要があった場合には、今後も増えていくことになると考えている。

【表示の例】

防犯カメラ作動中
設置者○○○○



子ども未来課 産後ケア事業

新たに宿泊型が追加されるが？

予算額
115
万円

どんな内容？

産後に育児等の支援が必要なお母さんを対象に、安心して子育てができるようにサポートする事業である。7年度から、従来の訪問型や通所型に宿泊型を加え支援が拡充される。

【問】気軽に利用できる環境整備が必要だが。

【答】出生届や健診の際など、様々な機会を通じて制度の周知を行い、利用しやすい環境づくりに努める。

【問】行政からの案内だけでなく、お母さん同士の情報共有やアプリなどを活用した情報提供も必要では。

【答】子育て支援アプリの導入を予定しており、現場と連携して使いやすい環境づくりに取り組んでいく。

【問】宿泊型の契約施設はどのくらいあるのか。また、2泊3日など長期利用は可能か。

【答】県内の医療機関や助産院から利用者が希望の施設を選べる。宿泊は最大7回まで可能で、1泊6万円のうち自己負担は1万2千円となる。

利用可能な事業所
など産後ケアにつ
いて詳しくは
こちら



町 HP

健康福祉課

(仮称)保健福祉センター 建設事業

住民福祉の向上へつながるのか？

どんな内容？

既存の母子健康センターと子育て支援センターの機能を集約し、健康と福祉、子育て支援の新たな拠点施設として整備を予定しており、7年度はそれに關する基本構想を策定するもの。

予算額

2304
万円

【問】健康づくりの拠点や子育て支援の充実等を掲げているが、現在、町が抱える課題に対し、どのような改善が期待されるのか。

【答】各種相談事業の強化や健診事業を集約し、今後の住民サービスの向上を目指している。子育てに関しては、乳幼児健診や相談事業、子育て事業もワンストップにしたい。課題としては、できる限り相談事業の不足部分を強化できればと考えている。ソフトの内容も含めて、基本構想で全体規模感等を算出し今後検討していく。



親しまれた施設も再編のとき

教育総務課

学習用および指導用タブレット端末購入事業 ウェブフィルタリング設定業務委託

学校のICT環境が整うのか？

どんな内容？

新たに小学校に799台、中学校に457台、計1256台のタブレットを購入するもの。

予算額

1億472
万円

【問】教職員を対象に、教育民生常任委員会においてアンケート調査を実施したところ、Wi-Fi環境の不安定さの指摘が多く寄せられている。改善策は。

【答】現在のネット回線は、役場サーバーに一括集中しているセンターサーバー方式をとっている。速度測定し、文科省からの推奨速度をクリアするように、NTTとデジタル推進室を交えて環境構築の打ち合わせをしているところである。

【問】現在運用しているタブレット端末に関しては、現場でのトラブルが絶えないという声もある。その対応も教職員では限界があるが、ICT支援員や専門家など相談体制は。

【答】専門的な知識が必要となることから、保守契約を結んでいる業者と、トラブル対応の協議をするなどして解消に向けて取り組んでいる。

【問】現場の教職員から、多くの市町村で使用されているアプリの導入を望む声も多いが。

【答】アプリの存在は知っているが、導入はしていない。各学校に確認し対応したい。

特集

予算
審査
特別
委員会

議案
審議

補正
予算

1月
第2
回会議

一般
質問

委員
会リ
ポート

議
会
報
告
懇
談
会

企画財政課

公共施設の維持管理

老朽化対策など財政は耐えられるのか？

【問：仁田秀和】町の公共施設は老朽化が進み、修繕だけでは限界がある。財源にも限りがある中で、施設の統廃合や基金の計画的運用など、持続可能な運営の考えは。

【答：町長】公共施設等総合管理計画に基づき、ニーズの変化や人口推計を踏まえ、統廃合や機能集約、長寿命化などを検討している。計画の柔軟な見直しも行いながら対応していく。

【問】第三者の視点を活用した事業評価の仕組みを導入する考えは。

【答】決算にあわせて、所管課ごとにPDCAサイクルに基づく事務事業評価を行っている。第三者の意見は有益と認識しており、今後さらに情報収集を進めていく。

【問：鈴木篤】人口減少が進む中、将来的なリスク管理の観点から基金の積立は理解できる。一方で、今の町民のために積極的に活用するのも責務ではないか。

【答】持続可能な行政運営のためには基金の積立が必要である。今後有効活用を図りながら進めていきたい。

まちづくり 振興課

逍遙のまちづくり事業の進捗と 7年度の取り組みは

事業の進展はあるのか？

【問：仁田秀和】本町が持つ「日帰りリゾート」としての魅力を活かし、海辺に癒しの空間を創出する「逍遙のまちづくり事業」では、地域との協議が進む一方で、官民連携や持続可能な運営体制など多くの課題が残されている。7年度の進捗と課題認識、今後の展望は。

【答：町長】6年度は菖蒲田浜地区にて懇談会を8回開催し、住民や転入者、子育て世帯など多様な立場の意見を集めた。「癒しの空間」や「地域の価値向上」などをテーマに議論し、平面図のイメージを作成した。課題は解決途上だが、新たな人材の発掘や若手からの提案も生まれ、地域活動の活性化にもつながった。今後はイメージ図案の具体化に向けて検討を進める。

【問】一過性で終わらず、継続的な地域活性化につなげるための運営体制と仕組みづくりは。

【答】行政単独では限界があり、民間との連携が不可欠である。必要に応じて補助金や税制優遇措置も検討する。7年度には調査委託を通じて、官民連携による継続的な仕組みの構築を進める。

【問：鈴木篤】民間業者と交渉するには、規模や予算の上限を示すべきではないか。

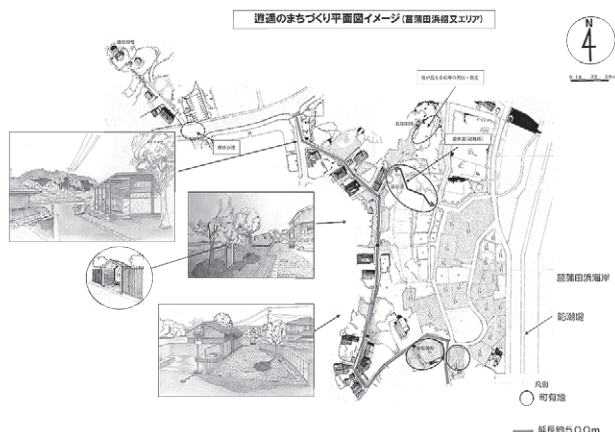
【答：まちづくり振興課長】予算上限を設定し、調査内容等の仕様書を作成、公表したうえで、民間業者の募集を行う予定である。

【問】交通や騒音への懸念から、地元住民の中には反対意見もあると思うが、聴取は行っているか。

【答】すべての住民が賛同しているわけではなく、今後の課題として認識している。具体化の段階で丁寧な説明を行っていききたい。

【問】町が主導で進めている事業と理解しているが、菖蒲田浜地区以外の町民への周知や理解促進はどうしているか。

【答】町広報等を通じて情報提供しており、今後も進捗に応じて周知を図る。地区限定ではなく、七ヶ浜全体のまちづくりの一環として進めている。



6年度に作成されたイメージ図

7年度予算討論

その

賛否

なぜ？

一般会計

反対 歌川 渡

さらなる改善を

- 正規職員と会計年度任用職員の給与の格差の改善
- 新耐震基準に準拠した耐震診断と改修
- サービス周知の「暮らし情報誌」発行
- 入学祝い金支給を中学校まで拡大
- 小中学校に学校司書の配置
- 普通教室のLED化促進
- 上記などの改善を求める。

賛成 熊谷 明美

住民の生活向上事業実施

- カメラ付き防犯灯の設置
- 産後ケア事業に宿泊型導入
- 放課後児童クラブ待機児童ゼロ
- 学校の児童生徒全員にタブレット端末貸与
- 学校体育施設のLED化
- 高齢者の帯状疱疹^{たいじょうほうしん}予防接種助成
- 成年後見制度の利用促進
- 上記などの理由から生活向上の取り組みを考えている。

国民健康保険事業特別会計

反対 歌川 渡

法に準拠した負担を

国保税を上げずとも事業運営ができています。それとは別に、国・県に法に準拠した負担を求めるべき。

賛成 鈴木 博

計画に基づき事業推進

収入減や医療費増が続く中、健康増進を含む施策が実施計画に基づき、7年度も継続して実施される見通しである。

介護保険特別会計

反対 歌川 渡

一般会計から補てんを

介護保険料は、第1期から2.4倍の6,600円と負担増。また、滞納・未収入は、第1被保険者の保険料に加算しているが、町の一般会計から補てんを。

賛成 鈴木 篤

民意を反映

認知症カフェの再開、成年後見制度の新設など4つの新規事業を中心に民意が反映された予算編成となっている。

後期高齢者医療特別会計

反対 歌川 渡

町独自の支援を

高齢者から独自に保険料を徴収し、負担だけが増える仕組みである。国に制度の見直しを求めること、町独自の支援を求める。

賛成 佐藤 直美

保健事業と介護予防の一体的実施

高齢者全員で公平に負担する制度。低所得者等にも配慮されている。高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業では、未受診者対策の取り組みをする。

水道事業会計

反対 歌川 渡

減免期間の延長を

水道事業の預貯金から見て、水道基本料金減免期間（3ヶ月間）の更なる延長と受水量に見合った受水契約の見直しを求める。

賛成 佐藤 信輝

施設の更新工事実施

内部留保資金は、緊急事態に備える大切な資金。水道料金の減免と上下水道施設の更新工事を実施する。

議案審議

【第2弾】快適な道路環境に ～縦断線舗装工事～

特集

予算審査
特別委員会

議案審議

補正予算

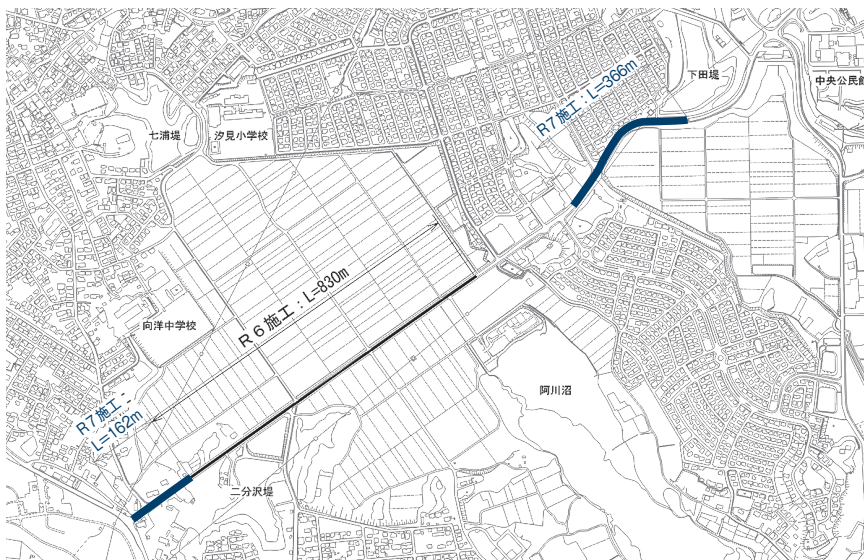
1月第2回会議

一般質問

委員会リポート

議会報告
懇談会

全体位置図 S=1:10,000
七ヶ浜縦断線舗装工事



工事請負契約

令和6年度七ヶ浜縦断
線舗装工事(その2)

内容

6年度補正予算で実施
された場所の延長で、下
田堤南側から西友付近ま
でと、つじいえ歯科医院
付近から県道丁字路まで
の施工延長528メートルです。

・契約金額

4563万円

・契約先

東北ニチレキ

工業株式会社

工期 7年3月31日

質疑

問 落札率64%だが、事
業への影響は。

答 企画財政課長 共通
費や共通仮設費、現
場管理費等事業者の工夫
があったためである。事業
への影響はない。

採決の結果
反対なく全会一致で可決

令和6年度七ヶ浜健康
スポーツセンター機械設
備改修工事

内容

・契約金額

1億4300万円

・契約先

株式会社

テクノ菱和東北支店

工期 8年11月30日

採決の結果
反対なく全会一致で可決

私はこちら判断



二次元コードを読み込むと全議案の
採決結果一覧表を閲覧できます。

定例会3月会議に上程された議案のうち、賛否の
分かれた議案のみを掲載しています。

	議決結果	鈴木 洋市	鈴木 篤	佐藤 信輝	鈴木 博	鈴木 恵子	佐藤 直美	熊谷 明美	佐藤 壮一	遠藤 喜二	岡崎 正憲	歌川 渡	仁田 秀和	安倍 敏彦
7年度 予算	一般会計	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	一
	国民健康保険事業特別会計	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	一
	介護保険特別会計	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	一
	後期高齢者医療特別会計	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	一
	水道事業会計	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	一

○賛成 ●反対 ※議長は採決に加わらない。

災害対応トイレ設置へ

正算
補正

7年度一般会計補正予算(第7号)は、1億1899万円を追加し、総額を85億639万円としました。本議案は原案のとおり可決しました。

■一般会計の主な補正予算項目

歳入(収入)

項目	補正額	理由
地方交付税	1億1,470万円	普通交付税に追加するもの

歳出(支出)

項目	補正額	理由
住民基本台帳ネットワーク機器購入費	1,781万円	重要なインフラをカバーするもの
各種予防接種受診票等印刷代 (高齢者带状疱疹予防接種 1300人分)	6万円	4月1日から定期接種化されるための印刷費用へ充てるもの
公共施設管理基金積立金	8,041万円	公共施設が老朽化しているため、改修等が懸念されることから追加するもの
新型コロナウイルス予防接種 健康被害給付金	688万円	国に認定された健康被害を受けた方への給付金

みんなの声



鈴木 稔也さん

七ヶ浜中央野球クラブ監督

今までは、子どもたちが横断歩道を渡って、アクアリーナのトイレを利用していました。今回、第2スポーツ広場の敷地内にトイレを設置していただけるということで、子どもたちだけでなく、保護者も安心して野球に打ち込めるようになると思います。利用チームとして、他の利用者の模範となるよう、きれいに使用させていただきたいと思っています。

問 トイレの管理は。
答 生涯学習課長 通常、使用する際は、ゆめクラブが鍵を預かっており対応する。

●第2スポーツ広場災害対応トイレ設置工事 (653万円)

みんなの声



市村 均さん

ネイチャーウォーク講師

大木囲貝塚では「ネイチャーウォーク」で、年に2～3回ほど植物の観察やリース作り等を行っており、そこで講師を務めています。園地には、1年を通して通い、自然の移ろいを楽しんでいます。トイレが常設されると、歴史資料館の開館時間を気にせずに安心して園内を散歩できますね。きれいに使いたいと思います。

問 トイレを設置した際の景観は。
答 生涯学習課長 設置予定の場所には、古くみ取り式トイレや小屋が存在しており、景観は県と相談しながら進めていく考えである。

●大木囲貝塚遺跡公園災害対応トイレ設置工事 (941万円)

問 保管場所は。
答 第2スポーツ広場の発電機は保管場所が未定だが、生涯学習センター内またはゆめクラブでの保管を考えている。

問 災害対応トイレに利用する非常用発電機を2台購入することだが、容量は。
答 出力が5.5kWであり、燃料タンクの運転時間が約16時間程度である。十分な対応が可能であると考えている。

問 排水タンクを隠すための囲いなどは考慮されているか。
答 生涯学習課長 設置の段階で契約予定の事業者と協議し見栄えを考慮し、検討を行う。

問 災害時の被災地対応の範囲は。
答 防災対策室長 災害の程度によるが、行けるのであればどこでも対応したい。

1月 第2回 会議

ガソリン税の見直しを 国に対し意見書提出

1月第2回会議を1月28日に開催し、条例の改正や6年度一般会計補正予算、議員提出議案を審議しました。

議員提出議案

●ガソリン税の見直しを 求める意見書

内容

原油価格の高騰や円安の進行などの影響により、ガソリン価格が上昇を続け、国民生活や地域経済に深刻な影響を及ぼしています。ガソリン価格の高騰が住民生活や地域経済に直接的かつ深刻な影響を及ぼしているにもかかわらず、その対策を地方自治体単独で講ずることは極めて困難です。ガソリン価格引き下げのための緊急かつ実効性のある対策を講ずることを強く求めるため、国に対して意見書を提出するものです。

提出者 仁田 秀和

●物価高騰対応重点支援 給付金支給事業(家計急 変世帯分)

内容

特に家計への影響が大きい家計急変世帯(6年1月から12月まで家計が急変した世帯)に対し給付金を支給するものです。

支給額
1世帯あたり3万円、
子ども加算1人当たり2万円

(170万円)

●町道整備事業

(7200万円)

内容

七ヶ浜縦断線舗装工事業業が、国の6年度補正予算で追加された交付金事業に該当すると示されたことにより、国庫支出金3500万円、地方債3500万円を財源として舗装工事の道路改修費に追加するものです。

質 疑

問

具体的な工事内容は、

答

建設課長 7年度に予定していた西友から東側(380m)を6年度補正で施工し、汐見台南の信号機部分(290m)は7年度以降の工事に変更するものである。

問

変更になった理由は、

答

町長 汐見台の中心で、景観も含めたインターロッキングの打ち替えを検討するため今回の変更となった。

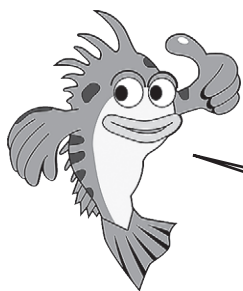
採決の結果

反対なく全会一致で可決

ひとロメ

「家計急変世帯」

同一世帯に属する者全員が、同年度分の町民税非課税である世帯と同様の事情にある世帯。



通行がスムーズになり
ちょっとうれしい
変化です



ひとロメ

「インターロッキング」

互いにかみ合うような形のコンクリートブロックをレンガ調に組み合わせて敷き詰める舗装方法。

特集

予算審査
特別委員会

議案審議

補正予算

1月第2回会議

一般質問

委員会リポート

議会報告
懇談会

3月会議では8人が質問！！！！



議員は、町が行う取り組み内容や問題に関し、幅広く質問することができます。これに対し、町は今後の事業の進め方や問題解決のための考え方を答えます。一般質問は、町民の皆さんの声を届け、議員と町当局が話し合う貴重な機会です。

一問一答方式



質問者の一つの質問に対して答弁者が一つずつ答弁をするキャッチボール方式。



一般質問の全容

定例会等会議録

議会だよりに掲載しているものは一部分になります。全部の内容は、数カ月後、ホームページに掲載されます。上の二次元コードからご覧になれます。

事前通告



質問内容は事前通告書として提出。事前通告とは、一般質問する項目を町当局に対してあらかじめ伝えておくための制度。

一人当たりの質問時間

議員の一人の質問時間が合計で30分まで。
(町当局の答弁時間は含まず。)



一般質問 町政を問う

仁田 秀和 …17ページ

- 町の観光ビジョンは まちづくり
- 下水道の維持管理は 公共インフラ

鈴木 篤 …18ページ

- 平等な受験機会の確保は 教育
- 検定補助事業の拡充は 教育

鈴木 恵子 …19ページ

- 特別障害者手当の周知を 福祉
- 漁港の計画的海底調査を 漁港管理

佐藤 直美 …20ページ

- 児童センターの整備は 児童福祉
- 学校施設再編ビジョンの進捗は 教育振興

遠藤 喜二 …13ページ

- 学生の町外バス料金を半額に 公共交通
- 危険なゴミ集積所の安全対策を 環境衛生

熊谷 明美 …14ページ

- 带状疱疹ワクチンを50歳からに 保健福祉
- 支援で投票を円滑に 選挙

歌川 渡 …15ページ

- 戦後80年に向け平和教育を 平和教育
- 条例で定めた面積割で契約を 財産管理
- 身近な生活道路の安全確保を 土地管理

佐藤 信輝 …16ページ

- 国府厨印を活用した
地域活性化を まちづくり

特集

予算審査
特別委員会

議案審議

補正予算

1月第2回会議

一般質問

委員会リポート

議会報告
懇談会

えんどう よしじ
遠藤 喜二

学生の町外バス料金を半額に

まちづくり
振興課長

定期券でスムーズな運行を

問 塩釜までぐるりんこを利用した際、運賃は350円。途中から乗った学生が300円を出し、町外の学校前で下車したが、高すぎないか。学生にとっては定期券にしても回数券にしても安くない。

答 まちづくり振興課長 定期券を購入していただいていた方がいい。



学生料金をもっと安く

危険なごみ集積所の

安全対策を

町民生活課長

解決策を検討していく

問 設置されている場所は見づらい上、カーブの白線から、わずか50〜60cmしか離れていない。ごみ袋を集積かごに入れるにしても住民の脅威は計り知れない。

昔の木でできた鳥小屋風のごみ集積所や、頭がぶつかるような低いごみ集積所に対し、町の方から言ったことはあるか。

これまでの地域住民の方々の利用頻度や集積場所のことを考え、今の場所からの移動は無理と考える。せめて石垣の場所までバックすることはできないか。

町が率先して「危険なでもう少し奥に設置しましょう」と地元区長や環境美化推進委員の方々に提案できないのか。

答 町民生活課長 町の方で地区に提案させてもらう。

ごみ集積所の相談を受



危険な高山ごみ集積所

けた場合、その形状や設置場所の相談に乗る。手続きも案内しながら進めている。

問 高山の場合はふたを上にあけてごみ袋を一旦置いて入れるタイプである。白線から出てしまふ。境界まで1・5

答 指摘の受けたごみ集積所は、地区の方と相談しながら解決策を検討していく。

mと1mあるのでごみ集積所を奥に入れば安全性も確保されるが。

特集

予算審査
特別委員会

議案審議

補正予算

1月第2回会議

一般質問

委員会リポート

議会報告
懇談会

带状疱疹ワクチンを50歳からに

町長 対象外の助成は考えていない



くまが い あ け み
熊 谷 明 美

特 集

予算審査
特別委員会

議案審議

補正予算

1月第2回会議

一般質問

委員会リポート

議会報告
懇談会

問 带状疱疹ワクチン接種が7年度から定期接種化になる。対象年齢は65歳で、5年間の経過措置として70歳から5歳間隔で100歳までと、100歳以上の人は全員である。60歳から64歳までの人は、基礎疾患のある人としている。

带状疱疹は、子どもの頃に感染した水痘のウイルスが大人になってストレスなどをきっかけに発症する。このウイルスは50歳以上の、ほぼ100%に近い人が保有している。接種対象年齢を見直し、リスクが急激に上がる50歳からとする考えは、

答 町長 高齢者の発病点で、70歳から発症のピークに達することを鑑みて、国が示している65歳を基本に実施する。対象外の助成は考えていない。

問 ワクチンには、生ワクチンと不活化ワクチンがあり、接種費用が、生ワクチンは1回のみで7千円～1万円。不活化ワクチンは2回接種が望ましく、1回2万円～2

万5千円。2回となると4万円～5万円と高額である。国からの補助金に、町独自の助成を加算し、接種者の負担軽減を図る考えは。

答 健康福祉課長 現在二市三町および塩釜医師会と調整中である。定期接種の基本的な考え方を踏まえ、統一して実施したい。町独自の助成は考えていない。

問 重篤化すると、带状疱疹後神経痛になる確率が高まり、長期に渡る痛みに辛い思いをする。さらに長引くことで、医療費の負担も大きくなる。このことを考えると予防が大切である。ワクチン接種は、最終的には本人の判断になる。だからこそ、対象者にワクチンの正しい情報と副反応等を丁寧に周知する必要があると思うが。

答 3月中に対象者全員に予診票やワクチン情報、接種費用、副反応の通知を郵送する。また、町広報等で周知する。

支援で投票を円滑に

選挙管理委員会委員長 議論したい

問 選挙は国民が主権者として、その意思を政治に反映させる事ができる重要な機会である。高齢者や障がいのある方が円滑に投票できるよう、期日前投票場や当日投票場に投票支援カードやコミュニケーションボード、投票用紙記入補助具を導入する考えは。

答 委員長 円滑な投票ができるよう、職員配置や手続きの対応など役割分担し案内している。

投票支援カード等設置の要望は寄せられていない。より良い投票環境を作るため、今後議論したい。

問 立会人の拘束時間が長いとの声がある。他自治体では時間を前半と後半に分けて運営している所もある。本町の考えは。

答 事務局長 午前7時から午後8時までの業務となっている。時間

問 立会人のなりて不足の対応策は。

答 全国的にも課題になっている。立会人の役割は大きく誰でもいいわけではない。現行制度の中でより良い方法を模索したい。



あなたの一票が大事です

うたがわ
歌川わたる
渡

戦後80年に向け平和教育を

教育長 歴史教育を 深めた上で進めたい

問 非核宣言の町として核兵器も戦争もない世界の人間社会を後世に伝える被爆80年に向けた平和教育事業を、公共施設にて原爆パネル展という形で開催する考えは。

答 教育長 戦後80年として、どのような形で周知できるか考えたい。

問 中学校2校で、被爆者等の実体験を聞く「平和教育」を開催する考えは。

答 実体験の機会は貴重な取り組みである。子どもたちの歴史教育を深めた上で進めたい。

問 広島市または、長崎市に平和大使として町民を派遣する考えは。

答 現段階では、派遣の考えはない。

問 6月、原水協の「国民平和大行進」で役場駐車場の使用許可や町の賛同スピーチの申し出があった場合は。

答 関係各課との協議の上、総合的に判断したい。

条例で定めた 面積割りで契約を

町長 使用台数で契約している

問 汐見台地区管理組合の賃貸料金が、近傍類似の地価1㎡が626・16円であれば、年間賃貸料は197万3030円になるのでは。

答 町長 質問の通りの金額になる。

問 どちらが賃貸契約面積3151㎡を求めたのか。

答 企画財政課長 管理組合からである。

問 賃貸契約で地積測量図および登記簿謄本等の確認をしたのか。

答 町長 どちらも確認はしていない。

問 駐車場の面積ではなく、25台の賃貸契約で締結しているが、1台あたりの面積はどのように試算したのか。

答 1台あたりの使用面積で試算していない。

問 6年度の賃貸契約時点で使用台数は30台であるが、25台の賃貸契約にしたのはなぜか。

答 管理組合側の申請の通り25台で契約した。

問 防犯カメラが隣接町有地に同駐車場を監視する設置の賃貸契約はしたのか。設置はいつからか。

答 管理組合側から貸付け申請等の許可書は交付されていない。平成22年度に設置された。現在、契約に向けて協議を進めている。

問 公有財産の目的外使用の事務実務のさまざまな対応は職員の懲戒処分の対象になるのでは。

答 副町長 詳細な報告が上がついていないので、回答は差し控える。

身近な生活道路の安全確保を

町長 解決の糸口が見えない

問 境山2丁目の公衆道路が広範囲に路面の剥離や陥没で通行に支障が出ている。現場確認は。

答 建設課長 去年の10月、2月上旬に確認した。

問 車両および歩行者の安全確保は。

答 町長 アスファルト舗装が破損し、支障がある状況である。

問 人身事故が発生した場合の対応先は。

答 状況や要因によるが、境界が未確定のため、一概に決められない。

問 側溝は道路内に敷設されているのか。

答 道路内に町が敷設したものである。

問 道路の補修には、隣接地権者との境界線等を明確にする必要があると思うが。

答 隣接地権者は自分の土地であるとの一点張り、話し合いもできない。境界未確定で補修もできない状況で、解決の糸口が見えない。

国府厨印を活用した 地域活性化を

町長

良いアイデアであり検討したい



さとうのぶてる
佐藤 信輝

特集

予算審査
特別委員会

議案審議

補正予算

1月第2回会議

一般質問

委員会リポート

議会報告
懇談会

問

文化財保護法の改正により、文化財の保護と活用が求められている。本町には大木囲貝塚などの文化財があり、特に国府厨印は青銅製の古代印で、西暦840年頃に使用されていた日本でも唯一現存する国府厨印である。文化的価値が非常に高いことから、国府厨印を活用したまちづくりの考えは。

答

教育長 常設展示を行い、実物見学の機会を提供している。まちづくり政策として国府厨印を正面に掲げることが考えていない。

問

国府厨印は、陸奥国府多賀城に海産物を納める際に使用された印であり、昭和61年に本町の歴史資料館で展示され



印影の活用方法は無限大

答

町長 提案は良いアイデアであり、国府厨印と多賀城の石組みの国宝指定に関連して何とかできないかと考えている。鼻節紀伊の守の末裔と面会し、関連資料を借りて調査を進めている。歴史資料館の学芸員が調査中であり、明治維新より30年前に鼻節神社改築の際に見えられたことが記されている。今後は町の指定文化財から県の指定文化財へと進めたいと考えており、そのために国府厨印の事業を町で広めることを検討している。

問

多賀城市は、国宝となった石碑の影響で交流人口が前年の3倍に増加している。ネット上では多賀城の石碑を訪れた人々の投稿が多く見られる。国府厨印が古代の多賀城と繋がりがあ

答

まちづくり振興課長 今後、多賀城市とも事業を含め、連携した形で観光を進めていく。

問

今年の春から多賀城市では南門が一般に解放されることに伴い、

問

観光バスを呼び込み周辺を巡る計画が進行中である。県で政庁を復元・再現する案が出ているとの情報も得た。松島から多賀城間の観光ルートを構築しようとしている今、何もしなければ七ヶ浜町は素通りされ、塩釜や松島のみ交流人口となる恐れがある。観光客が近くまで来ている現状を踏まえ、隣接地域が集客に成功している中で、本町も知恵を使い人を呼び込む流れを創る必要がある。早急に行動することで人の流れを生み出すと考えるが。

答

町長 町として多賀城と連携し、集客を図る考えを示したい。多賀城の碑も長年にわたり偽物とされていたが、最



日本唯一の貴重な印
(写真提供：七ヶ浜町歴史資料館)

問

七ヶ浜の文化財である国府厨印を、県文化財や国の文化財に申請する考えは。

答

教育長 昭和46年に町指定文化財の第1号として指定された。所有者は鼻節神社であり、町資料館で保管活用されている。国や県の文化財に国府厨印を認める意義を十分に勉強し対応する考えである。



に っ た ひ で か ず
仁 田 秀 和

町の観光ビジョンは

町長 日帰りリゾートの町を確立したい

問 本町の観光政策は、ビジョンが不透明であり、何を目指し、どのように進めていくのか明確に示す必要があると考えるが。

答 町長 長期総合計画の基本理念を基盤として、心癒される町を目指す。癒しの空間を共感するまちづくり、活気を創造していくまちづくりなど、基本目標を達成するために町のファンを増やし、人が行き交う賑わいのある町の実現に向けて取り組んでいる。本町の歴史や文化、自然、景観など特有の地域資源を生かし、海浜エリアを中心とした日帰りリゾートの町を確立していくことで、さらなる関係人口の増加を目標に掲げている。これらの施策が波及することにより、観光にも繋がるものと考えている。

問 追遠のまちづくり事業の観光政策の位置付けは。

答 計画の目標実現のため、町民はもとより、訪れる人への癒しの空間や、ふと歩きたくなる場

所として、町の魅力を高めるものと考えている。

問 観光施策は今後どのような方針で進められていくのか。

答 観光は地域経済や社会環境の変化にに応じ、そのあり方や仕組みが日々変化する。本町では観光に特化することなく、基本理念に基づくまちづくりを進め、町のイメージを高めていくことがその波及効果として観光にも繋がるものと考えている。引き続き、町観光協会や関係団体と協力し、新たな生業の創出など模索しながら、進めていきたい。

問 震災復興計画において、菖蒲田浜や花洲浜に業務系エリアを設定し、第3次産業の誘致を進めてきたが、その成果と、これまでの課題および解決策は。

答 震災後、土地画整の整備などに時間を要したが、その後の店舗の進出などの状況から、一定の成果はあったと考えて

いる。課題は、多くの集客がある菖蒲田浜の海岸エリアでは、移転元地の維持管理や現在利用していない町有地の活用である。まずは追遠のまちづくり事業などを進めながら、周辺の人の流れや海岸部に相応しい土地利用を検討し、民間事業者等の参入も含めて、時間がかかっても景観等に配慮した土地利用の促進を図ってきたい。

問 観光政策の強化を図るためにアドバイザなどを活用する考えは。

答 今後、必要に応じて専門的知見やアドバイスをいただく機会があれば取り入れていきたい。

下水道の維持管理は

町長 計画に基づき

実施している

問 埼玉県八潮市において道路の陥没事故が発生し、その原因として下水道の老朽化が指摘されている。このような事故は住民の安全に直結する重大な問題であり、本町においても同様のリスクがないか、早急な確認と対策が求められる。本町の下水道インフラの現状および対策は。

た老朽管は、県道歩道部分の265メートルで老朽化率は0・2%である。汚水管渠の腐食やクラック等の破損の著しい箇所は、主に内面更生により改良工事を行っている。

問 定期点検と維持管理体制は。

答 下水道長寿命化計画やストックマネジメント計画に基づき、計画的に調査を行っている。調査方法は、テレビカメラ調査等を業務委託にて対応している。また、日常的な点検と管理は職員と委託業者で管渠などの点検管理により、大規模な工事に至らないよう早期発見と対策を行い、下水道を使用する町民が衛生的に生活できるよう行っている。

問 町長 町内には下水道管路延長11万5635メートル整備している。法定耐用年数が50年を超え



七ヶ浜の魅力をもっと身近に！

特集

予算審査
特別委員会

議案審議

補正予算

1月第2回会議

一般質問

委員会リポート

議会報告
懇談会

平等な受験機会の確保は

教育長 制度の周知を徹底する



すずき あつし
鈴 木 篤

特 集

予算審査
特別委員会

議案審議

補正予算

1月第2回会議

一般質問

委員会リポート

議会報告
懇談会

問 6年度の公立入試から、追試対象のやむを得ない事由に「生理による体調不良」も含まれたが、制度の周知や利用が進んでいないように感じる。現時点での周知方法は。

答 教育長 両中学校で受験生と保護者に向けて資料をメール等で周知している。また生徒にも直接指導している。

問 周囲の保護者に確認したが、この制度の内容を学校からの情報で知った人がいなかった。この事実をどう捉えるか。

答 事実として伝わっていない生徒や保護者がいたということを今ここで認識した。従って、この制度の啓発と指導だけでなく、本当に受験生が内容を理解したのか、確認まで含めて、中学校に求めていく。

問 入試に限ったことではないが、定期テストやプールの授業など、評価が下がってしまうのではないかと懸念から言い出しにくいとの声も

多い。現状では、女子生徒が不利になりかねない環境があるのではないかと。これまでの確認不足はお詫びする他ないが、町内各5校の校長には、生理のある女子児童や女子生徒に学習上のハンディキャップを絶対与えないよう指導していきたい。

問 本件では、本町在住の女子大学生が周知活動を行っており、多数のメディアでも紹介されていた。彼女が町内の中学校に協力を要請したところ、断られたと聞いて

いる。生徒だけでなく、大学生にとっても絶対の学びの場となったと考えるが、断った理由は。

答 女子学生の活動はメディア等を通して認識している。まさに本町が目指すコミュニケーション力の高い人材が育っていることに感動した。両校長も受けるべきものと認識していたが、校長まで話が上がつていなかったとの回答があった。調査した上で、該当の中学校には厳しく指導する。



誰もが平等に受験できる環境を

検定補助事業の拡充は

教育長

考えていない

問 小学校では、英語検定の実施が1月の1回のみとなっている。学校側の事情は理解するが、中学受験を検討している児童にとっては、利用しにくいのでは。

答 教育長 今後、校長会を通して検討する。

問 受験料を補助するだけでなく、受験する生徒に対策講座を行うなどサポート体制も必要だと考えるが、実施している取り組みは。

答 英語を通して自分の言葉で考え、自分の言葉で意見や考えを伝えることのできるコミュニケーション力の育成を目指しているものであり、英語科に特化したものではない。従って、特別な対策講座は実施していない。

問 公金を使った事業である以上、合格率のよい成果が求められる側面もあると思うが。

答 合格率に着目すると、教員の児童に向かう姿勢が変わる可能性がある。また、英語が大好きな小学生にマイナスの影響を与える懸念がある。

問 世界に通用する人材を育てるための英語コミュニケーション力向上を目指すのが目的で始まった事業だと認識している。例えば、補助対象をTOEICやTOEFLなど他の検定まで拡充する考えは。

答 グローバル人材という言葉の定義が難しい。英語に特化した事業ではないので、今後も検討するつもりはない。



す ず き け い こ
鈴 木 恵 子

特別障害者手当の周知を

町長 周知方法の検討を進めていく

問 特別障害者手当は、精神または身体に著しく重度の障がいがあり、日常生活において常時特別な介護を必要とする特別障害者に対し、月額2万8800円が支給される国の制度である。申請窓口は各市町村となっている。

答 要介護認定者で主に受給できる介護度とその人数は。

町長 要介護4以上で受給人数は20人である。

問 要介護認定者で、特別障害者手当の申請件数と受給者は。

答 過去5年間の介護度4以上の申請は22件であり、受給者は20人である。

問 町の要介護4以上は230名ほどいる。その1割程度の申請で受給者は20人。9割の方は知っているのか。

答 長寿社会課長 身体障害者等各種手帳を交付者に各種制度の一覧を説明している。

問 介護対象者への特別障害者手当の周知方法は。

答 町長 窓口や電話等で問い合わせがあった場合に健康福祉課へ繋ぎ対応している。

問 車いす利用や日常生活動作の評価から、身体障害者手帳を持つていなくても、該当する方が介護保険利用者の中に多くいるが。

答 長寿社会課長 周知が足りなかった。

問 対象となる全ての人に周知するための政策や施策を設ける考えは。

答 町長 健康福祉課と連携し、周知の方法の検討を進めていく。

問 対象者の1割の利用状況を踏まえ、再度周知する考えは。

答 長寿社会課長 最も把握しているケアマネージャーを対象に、3月の会議で早速制度の説明をする。

漁港の計画的海底調査を

町長 要請に応じて調査する

問 震災以降、町管轄の松ヶ浜漁港や菖蒲田漁港の深浅測量および浚渫工事の時期や内容と結果は。

答 町長 震災以降、平成23年8月から同年11月までの間に、当時確認された浮遊物やがれき堆積物、消波ブロック、コンテナなどの撤去を応急復旧工事として実施した。潜水士により潜水調査をし、グラブ浚渫船により陸揚げを行い、廃棄処理を実施した。その後、両港ともに計画水深を満たしていることを確認している。

問 相談内容や撤去費用などは。

答 1件目は5年8月に、船の係留ロープが何かで切れるとの相談があった。潜水調査した結果、5つの消波ブロックが確認され、6年8月に撤去した。事業費は潜水調査費、撤去処分費合わせて524万3700円。

問 定期的に調査する考えは。

答 まちづくり振興課長 まずは、相談が寄せられたエリアを潜水士による調査を進める。このことは地元の漁業者の理解と協力を得ている。

問 5年度以降、がれき等の撤去に関する要望は。

答 要望はないが、漁港内の支障物に関して、菖蒲田漁港を利用して、漁業者から2件の相談があった。

問 調査および撤去費用を計画的に予算化すべきではないか。

答 潜水調査費用として7年度当初予算に計上している。



計画的な調査で安全に(菖蒲田浜漁港)

児童センターの整備は

町長 既存の公共施設で対応する



さとう なおみ
佐藤 直美

特集

予算審査
特別委員会

議案審議

補正予算

1月第2回会議

一般質問

委員会リポート

議会報告
懇談会

問

母子健康センターや子育て支援センター、生涯学習センター、老人福祉センターのあり方や再編を検討しているが、0歳から18歳の全ての児童が利用できる児童センターもしくは児童館の整備も視野に入れ、再編を検討すべきと考えるが。

答

町長 健康づくり等、子育て支援の新たな拠点施設として整備を予定している（仮称）保健福祉センターは、既存の母子健康センターと子育て支援センターを集約し、各種健診機能や相談事業の充実と、未就学児を対象とした子育て支援の充実を目的とし、基本構想および基本設計を進める。

問

児童センターや児童館の整備は、新たに設置する考えはない。まずは子どもたちが自由に利用できる場所として、既存の公共施設や地域活動の利用促進、そして保育や学童保育の充実にも引き続き留意し、対応していく。

答

はなし。まずは子どもたちが自由に利用できる場所として、既存の公共施設や地域活動の利用促進、そして保育や学童保育の充実にも引き続き留意し、対応していく。

問

既存の施設に子どもや若者専用のものはない。以前あった青少年ホームのように若者が使える場所の整備は。

答

副町長 生涯学習センター内の部屋割りを今の時代に合った部屋割りにするよう指導していく。

問

老人福祉センター「浜風」に関しては、生涯学習課長 部屋割りに関しては、

答

割りに関しては、浜風が含まれるのか、公民館の部屋をうまく使うのか、早急に考えていきたい。

問

子ども議会プロジェクトチームで、小学校6年生の「わたしたちの考える七ヶ浜」の発表を見学した際に、生涯学習センターは、汐見小学校区から遠いので、学区内に勉強したりできる場所を作れないかとの意見があった。子どもの居場所として避難所等を開放する考えは。

答

子ども未来課長 7年度、子ども計画を策定するにあたり、子どもに対してアンケート調査も実施するので、子どもたちがどういった場所で過ごしたいのかも含めて、意見を聞きながら考えていきたい。

利府町中央児童センター
へあくる

中高生タイムを利用するみなさんへ
中高生タイムは、中高生世代のみが利用できる「アリスベース」です。

お願い
① 大声で騒ぐなど、まわりに迷惑をかける行為は禁止です。
② 使った後は、きれいに片づけてください。
③ スタッフからいわれたことは、守ってください。
何か必要なものがあたら、スタッフに声をかけてね。

飲み物も用意しているので、自由に飲んでね！！
(17:30～19:45まで)

17:30～20:00は
ちゅうこうせい
中高生タイム！！

17:30～20:00までの時間、
じやん
このへや、【集会所】は
しやうかいしつ
中高生世代だけがつかえます。

中高生世代も応援しましょう！

学校施設
再編ビジョンの進捗は

町長 研修会を実施した

問

令和5年9月会議の学校施設再編ビジョンに関しての一般質問への答弁は、「6年度に検討委員会設置を目指し、今後、委員の選出方法等の検討を進めていく」であったが進捗状況は。

答

町長 その様に回答したが、進めていくうちに、学校再編は長期的な取り組みになることが予測された。検討すべき事項が多岐にわたるため、教育総務課を中心に役場内で取り組みに係る準備作業として、課題となる論点の整理や研修会を行うなど進めてきた。

取り組み内容

① 現在の各学校施設の状況

② 児童生徒数の将来推計と学級編制法に基づく学級数の年次推移予測

③ 急速に進む学校再編等に係る全国の共通課題とその解決事例調査

問

④ 現行の公立学校の種別の長所と短所
⑤ 2030年以降に計画されている学習指導要領に関して

問

6年度は、学校再編検討委員会講師謝金10万円のみ計上されているが内容は。

答

東北大学大学院教育学研究科から講師を招き、2030年以降の教育ニーズや学校像に関して研修会を実施した。

問

検討委員会の設置時期も含め、学校再編に向けて町長の考えは。

答

情報を集める中で検討委員会の設置は、より慎重に進める必要があると考える。6年度の活動を糧にもっと広く、先行自治体での取り組みなど、さらに情報収集と課題を整理していきたい。

七ヶ浜町議会プレゼンツ

子ども議会
プロジェクトチーム

子ども議会

以前、町でも「ふるさと子どもゆめ議会」が行われていました。今回は、七ヶ浜町議会主催の子ども議会を開催いたします！ 今号では、開催に向けて行った事業を掲載いたします。

1月17日（金） 校長会への出席

小学校3校、中学校2校の校長先生方へ、実施要領（案）を説明させていただきました。「一番の目的は主権者教育です。子どもが声をあげられる環境作りや、子どもの意見を地域に反映させる環境づくり、防災・減災教育へつなげ、さらに町への誇りの気付きにつなげることが目的です。また、子どもたちの自由な意見・提言を聞き、今後のまちづくりの参考にし、提言書を作成し町に提出したいと考えています。」とお話させていただきました。



1月23日（木） 汐見小学校6年生 「わたしたちの考える七ヶ浜」 発表会見学

汐見小学校6年生の4グループが発表してくれました。

- ① 学力アップ計画
- ② 七ヶ浜に高校を作ろう
- ③ 七ヶ浜の人口増加～笑顔あふれる豊かな町～
- ④ ～海をキレイに七ヶ浜～

clean the sea at 七ヶ浜

4グループとも本当に素晴らしかったです！タブレットで資料を作成し、プロジェクターを使っての発表でした。大人が気付かない点を簡潔にまとめ、大きな声ではっきりと発表してくれました。児童がどのように、七ヶ浜町をより良い町にしたいのか聞くことができ、本当に良かったです。

発表会を振り返って

発表してくれた児童の皆さん、4グループの発表を立派に聞いていた児童の皆さん、そして、このような機会を作ってくださった校長先生はじめ、教職員の皆さん、本当にありがとうございました。

子ども議会開催に向け今回の見学を活かし、児童生徒の皆さんが発表しやすい環境作り、そして、各学校との連携を更に進め、チーム一丸となって準備をしていきます。

開催予定日決定！

開催予定日は **7月29日（火）** です！

午前中は、小学生の皆さん、そして午後は中学生の皆さんに、日頃疑問に思っていることや希望、意見、七ヶ浜のまちづくりに関して考えていることを子ども議員として議場で発表してもらう取り組みです。詳細は各学校で説明させていただきます。皆さんの参加をお待ちしています。

また、傍聴席も準備しておりますので、町民の皆さんの傍聴もお待ちしています。



子ども議会開催に向けての第一歩

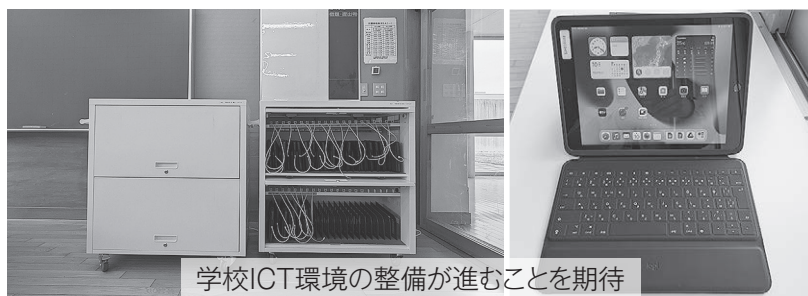
教育民生

●学校教育現場のICT環境に関するアンケート調査を実施

国のGIGAスクール構想により全国の学校現場では、ICT化が進んでいます。ICTを活用している中で、本町の教育現場が直面している課題や改善点、今後必要な支援など、率直なご意見をお聞きしたいと考え、町内各学校の全教職員を対象にアンケート調査を実施しました。

主な質問

- タブレット端末の使用状況
- ネットワーク環境
- ICT活用の課題
- 今後の改善点
- セキュリティ対策など15項目



学校ICT環境の整備が進むことを期待

ご協力いただいた教職員の皆さま、ありがとうございました。いただいたアンケート結果は、取りまとめ町教育委員会に提出するとともに、当委員会においても、今後、より良いICT環境の充実に向けて取り組んでまいります。

総務産業

当委員会では、町民生活に関わる4つの課題を調査し終結しました。

●狭あい道路と危険な側溝の安全対策

吉田花洲線など町内の危険箇所を複数回にわたり現地を確認し、フェンスやガードパイプ、路面標示の引き直しなどにより安全性が確保されたことを確認しました。



認識しやすい路面標示に

●DX活用したぐるりんこの活用

ぐるりんこのルートを二丁に合わせ最適化する調査を調査してきました。民間業者の説明会および3回の視察研修で得た知見をもとに、町民バスぐるりんこのデマンド化を町に提案する形で実施しました。結果、デマンド化に比べ、バスを増台することによる効果の方が大きいという回答を受け調査を終了しました。デマンド化も含め、町民にとつてより良い公共交通になるよう注視していきます。

●パークPFI活用による町内設備の有効活用

民間活力を活用した公園管理の効率化を目指し、宮城県内外の事例を参考にしながら、町内設備における導入の可能性と課題を議論しました。

●住宅地並びに幹線道路における街路樹のあり方と管理

樹木の越境や倒木の危険性が指摘された地域において、管理体制の課題を確認し、今後の安全性確保に向けた対応の必要性を整理しました。

これらの調査を通じて、安全で快適な暮らしの実現や、持続可能なまちづくりに向けた基盤整備の重要性を改めて認識しました。

今後も住民の声に寄り添いながら、課題解決に取り組んでいきます。

議会活性化

●政務活動費プロジェクトチーム会議

議会活性化検討特別委員会では、タブレットの貸与や議員活動のデジタル化が進んでいることから、政務活動費プロジェクトチームを立ち上げ、政務活動費の見直しを協議しました。

協議の結果、適用範囲を広げ、デジタルに関する経費を、一定の割合など条件付きで政務活動費で支出することを認めるべきであるとなりました。

また、クレジットカード支払いなどで生じるポイント、ポイント還元額を差し引いた額を政務活動費対象額として報告することを明記しました。





議会報告・懇談会を 開催します

議会報告・懇談会を5月15日(木)から21日(水)の間で開催します。皆さんの参加をお待ちしております。

開催日	時 間	会 場	対 象 地 区	班	班編成
5月15日(木)	午後 6:00～ 7:30	境 山 公 民 分 館	境 山	2班	1班
5月17日(土)	午前 10:00～11:30	松ヶ浜地区避難所	松 ヶ 浜	1班	鈴木 篤 鈴木 博 佐藤直美 歌川 渡
		湊浜地区避難所	湊 浜	2班	
		遠山地区避難所	遠 山	3班	
	午後 1:30～ 3:00	汐見台第二公民分館	汐 見 台	1班	2班 佐藤壮一 岡崎正憲 仁田秀和 鈴木恵子
		亦楽地区公民分館	亦 楽	2班	
		要害・御林地区避難所	要害・御林	3班	
	午後 3:30～ 5:00	笹山地区避難所	笹 山	1班	3班 遠藤喜二 鈴木洋市 佐藤信輝 熊谷明美
		代ヶ崎浜地区避難所	代ヶ崎浜	2班	
5月18日(日)	午前 10:00～11:30	花渚浜地区避難所	花 渚 浜	1班	
		菖蒲田浜地区避難所	菖 蒲 田 浜	3班	
	午後 1:30～ 3:00	東宮浜地区防災会館	東 宮 浜	1班	
		汐見台南第二集会所	汐 見 台 南	3班	
5月21日(水)	午後 3:30～ 5:00	吉田浜コミュニティセンター	吉 田 浜	3班	

※議会だよりNo.163をご持参願います。

対象地区以外の方でも参加できますので、都合の良い会場にお越しください。

初の試み！住民懇談会開催予定!!

町内で活動している各種団体等の方々から、ご意見をいただく機会を設けたいと思い「しちがはま議会 Café de まちトーク」を初の試みとして、7月上旬に開催する予定です。政策提案やより良い議会活動に皆さんの声を活かしてまいりたいと考えております。



Please follow us!